

今年度2回目

学習強化週間開始!

～ 学習時間調査 (11月13日(月)～11月19日(日)) 実施 ～



11月27日(月)から4日間、2学期末考査が行われます。それに合わせて来週月曜日から、第2回学習時間調査が行われます。各科の目標学習時間と今年の6月の調査結果は以下のとおりです。

学科	平日目標	前回(6月)	休日目標	前回(6月)
普通(1年)	2時間30分(150分)	2時間24分	4時間(240分)	3時間49分
普通(2年)	2時間30分(150分)	2時間47分	4時間(240分)	4時間37分
普通(3年)	4時間(引退後5時間)	3時間25分	8時間(480分)	5時間03分
商業・情報処理	2時間(120分)	2時間12分	3時間(180分)	3時間16分
体育	1時間(60分)	53分	2時間(120分)	2時間06分

見てのとおり、多くが目標をクリア、または肉薄する結果となりました! これも、まず学習調査が行われることを意識していたからであり、また、これを機に皆さんが意識的に学習時間を伸ばしたからです。この勢いで、今回の第2回の調査でもぜひ目標を上回り、さらに前回の自分たちの記録をも上回ってほしいです。ただし、これは平均値。まだまだクラス間または個人間に差があります(自分のクラスがどうだったかは担任に聞いてみてください)。ぜひ、良きライバルをつくって、良き競争をしましょう。

陸上の400mハードルの日本記録保持者である為末大選手はこんなことを言っています—『私にとって大きな存在だったのがライバル選手でした。競技に限らず、社会において敵との戦いは存在します。心の中では、「ライバルなんて現れない方がいい。」と思っていました。「こいつがいなければ勝てる。」と思うし、楽に頂点にたどり着けるわけですから。でも、こうした困難な存在が目の前に現れることによって、乗り越えるべき壁が見えて必死に努力する。気がつけば、自分がかつて想定していたよりも、ずっと高いレベルに到達していました。過去を振り返ると、新たなライバル選手が台頭してくると、私自身の好成績につながっているのです。』互いに切磋琢磨して、互いを高め合える。これこそ真の友です。

最後に、前回も話しましたが、学習時間調査の目的は、調査そのものにあらず。これをきっかけにして、勉強する習慣を身に付けてほしいのです。勉強時間をしっかりと確保した生活スタイルを確立してもらいたいのです。みんな『やる』ところまではできます。そこから明暗を分けるのは、『続ける』かどうか。

さあ、この学習時間調査を大いに利用して、成績を上げたり、苦手な科目を克服したり、生活の見直しをしたり…。目標勉強時間を“当たり前”のことにできるように頑張りましょう!

保護者の方々にお願い

前回同様、学習時間調査を機に、全校を挙げ、学習強化・学習時間確保とその生活スタイルの定着を図りたいと考えております。**起床・学習開始・就寝時間の3点固定をお願いします。**

また、前回もお伝えしたように、**自宅学習の阻害要因として最大のものが「携帯(スマホ)利用」**です。本校でも平日1時間以上使用している割合が約72%もありました。しかも、先日配布しました南日本新聞の記事にもあったように、**スマホの使用が勉強内容を打ち消してしまう負の効果もある**ことがわかってきています。これまでは『勉強を頑張ったから使ってもいいよ。』とする場合もあったでしょうが、この結果を知ると、使用そのものを考え直さないといけない気にすらなってきます。

ご存知のとおり、依存性のあるスマホは、酒やタバコ、ギャンブルと似ていて、その使用を自分で強く制御しなければならない性質を持つものです。与えた者にはそのような危険性を理解させ、使用マナー等も含め監督・指導する責任があります。

学習時間確保のためにも、また自己統制の訓練のためにも、本校のルール夜9時以降の携帯電話(スマホ)不使用を徹底してください。今、スマホ使用のセルフコントロールができるようになれば、大人になっても安心です。これは、現代社会を生きていく上で、教科指導と同じくらい重要なことです。“スマホの使い方を教育する”つもりで御家庭での御指導をよろしくお願いします。